

年度	2018年度	開講部局	教育学研究科博士課程前期		
講義コード	NMX10010	科目区分	専門的教育科目		
授業科目名	学術文章の書き方とその指導法 - 大学教員を目指して -				
授業科目名 (フリガナ)	ガクジュツブンショウノカキカタソノシドウホウ - ダイガクキョウインヲメザシテ -				
英文授業科目名	Principles and Methods of Academic Writing for Prospective College Teachers				
担当教員名	柳瀬 陽介, 柳澤 浩哉, 丸山 恭司, 吉村 慎太郎, 河本 尚枝				
担当教員名 (フリガナ)	ヤナセ ヨウスケ, ヤナギサワ ヒロヤ, マルヤマ ヤスシ, ヨシムラ シンタロウ, カワモト ナオエ				
研究室の場所	A207	内線番号	6794		
E-mailアドレス	yosuke@hiroshima-u.ac.jp				
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期 セメスター(前期)		
曜日・時限・講義室	(前)月9-10: 教K208				
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義と演習を併用する		
単位	2	週時間	2	使用言語	J: 日本語
対象学生	全学の大学院生(専攻・博士課程前期か後期は問わない)				
学修の段階	5: 大学院基礎的レベル				
学問分野(分野)	21: 社会人基礎				
学問分野(分科)	01: 初年次教育				
授業のキーワード	学術論文、アカデミックライティング、研究方法				
教職専門科目		教科専門科目			
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ					
到達度評価の評価項目					
授業の目標・概要等	<p>本授業では、学術文章を書くために必要な技能と、その指導法を身につけることを目的とします。学術文章に第一に求められる条件は、明晰さと論理的一貫性であり、これはあらゆる学問分野に共通です。本授業では次の二点を学びます。(1) 明晰さと論理的一貫性のある文章を作るための技能。(2) 学術文章作成を指導できる能力。ただし、(2)の能力は文章を添削する能力ではありません。書き手自身に問題点を発見させ、それを修正させる能力のことであり、カウンセリングに近いものです。これが大学教員に求められる能力であることは言うまでもありません。</p>				
授業計画	<p>現在のところ、次のような内容を考えています。            授業の開始時に、予定表を配布します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 イン트로ダクション + 説得とレトリック</li> <li>2 教材分析: 対象を具体化して考える方法</li> <li>3 学術文章とはどういう文章か</li> <li>4 論文の構成要素とそれらの機能</li> <li>5 実践的日本語文法(1): 助詞や複文など</li> <li>6 実践的日本語文法(2): 段落、文章展開など</li> <li>7 テクニカル・ライティング(1): 一つの単位に一つの考え、最初と最後</li> <li>8 テクニカル・ライティング(1): 新旧情報、並行構造、視点の統一</li> <li>9 論文添削(1): 要約の添削</li> <li>10 論文添削(2): 刊行された論文の添削</li> <li>11 実践課題(1): 書き方を指導するとは</li> <li>12 実践課題(2): チュータリング観察</li> <li>13 実践課題(3): チュータリング実践(コメントする・される)</li> <li>14 実践課題(2): チュータリング実践(他者の成長を支える)</li> <li>15 総括と展望</li> </ol>				
教科書・参考書等	今のところ考えていません。必要な資料はすべてBb9で配布します。				
授業で使用する メディア・機器等	パソコンが設置されている教育学部K208教室で授業を行い、授業内でパソコンを適宜使用する。				
予習・復習への アドバイス	毎時間作文の課題を課す。				
履修上の注意 受講条件等	受講希望者多数の場合は、話し合いの結果、くじ引きなどによって受講生を決定することがある。受講希望者は必ず初回の授業に出席すること。				

成績評価の基準等	出席状況および提出された課題によって評価する。
メッセージ	
その他	授業の受講生で成績優秀だった者は、ライティングセンターのTAとして採用する。チューターの業務は本年度後期から開始。なおこのチューターはTAよりも高待遇になる見込みである。
すべての授業科目において、授業改善アンケートを実施していますので、回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力しており、今後の改善につなげていきます。	